

かくだ市議会だより



第433回定例会

- 概要・質疑・常任委員会 2～3
- 決算審査特別委員会 4～5
- 議案審議結果 6
- 一般質問 7～13

角田市議会から

- 委員会等の構成 13
- 角田市チャレンジデー2025 14

【今月号の表紙】『冬を告げる』

紅葉が残る手代木沼。いつものように冬の使者「白鳥」が飛来しました。

《撮影》 齋藤 吉信 さん

撮影日：令和6年11月24日 場 所：手代木沼

表紙の写真・イラスト等を
募集しています

令和8年2月1日号の応募は
12月17日（水）まで



詳細はこちら

第433回
定例会
9月

第433回定例会は9月5日から10月2日まで
の28日間の会期で開か
れました。

市長から提案のあった
条例の改正や廃止、補正
予算、令和6年度各種会
計決算などの議案19件
の審議では、原案のと
おり可決・認定し、教育
委員会委員の任命、固
定資産評価審査委員会
委員の選任について同
意しました。また、人権
擁護委員の候補者の推
薦について適任と答申
しました。

一般質問では、11人
の議員が市政全般にわ
たり論戦を繰り広げ、最
終日には、議員提出議
案が1件提出され、全
会一致で可決しました。

補正予算の詳細は
こちら



議案第50号



議案第59号から
議案第64号まで

議案
第56号

角田市放課後児童クラブの設置及び
管理に関する条例の一部改正

放課後児童クラブの運営を令和8年度から民間事業者
に業務委託するに当たり、開所時間を延長し、延長利用を可
能とするため、所要の改正を行うもの。（令和8年4月1
日から）

授業日以外	授業日	〔現行〕開所時間	〔改正内容〕延長利用時間
午後6時30分まで	午後6時30分まで	放課後から 午後6時30分まで	午後6時30分から 午後7時まで
午後8時から 午後6時30分まで	午後7時30分から 午後8時まで 午後6時30分から 午後7時まで	午前8時から 午後6時30分まで	午前7時30分から 午前8時まで 午後6時30分から 午後7時まで

※延長利用に係る利用料は、児童一人につき、
月額1000円

問
開所時間を延長するに
至った背景について問う。

民間事業者への業務委託
を検討するに当たり実施
した利用者アンケートで、利
用時間の延長を望む回答や、
小学校の長期休業期間中にお
う。



▲関ノ内児童遊園のトイレ

児童厚生施設費
児童遊園トイレ撤去業務委託料
どここの児童遊園のトイレ
を撤去するのか。

裏町児童遊園、関ノ内児
童遊園、笠島児童遊園の
3カ所である。いずれも汲
取り式で、設置から相当の年
月が経過しており、各行政区
より撤去の要望があったため
である。

議案
第59号

角田市一般会計補正予算(第5号)

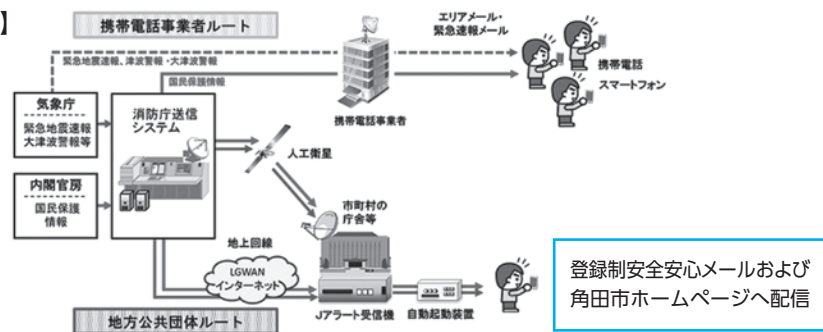
災害対策費

全国瞬時警報システム
新型受信機更新業務委託料

業務委託の内容について
問う。

全国瞬時警報システム
「Jアラート」は、緊急
地震速報、弾道ミサイル情
報、津波情報等に関する情報
を、携帯電話等に配信される
緊急速報メール、市の安全安
心メール等により、国から住
民までに瞬時に伝達するシス
テムである。消防庁から、令
和7年度末までに、防災気象
情報の体系整理の見直しに対
応可能な新型受信機の整備が
求められており、既存の受信
機を新型に更新するものであ
る。

【イメージ図】



議案
第68号

角田市総合保健福祉センター大規模
改修(建築)工事請負契約の締結

建設から20年以上経過した総合保健福祉センター(ウエル
パーク)の耐久性を高めるため、建物の防水、屋根、外壁、
塗装などの改修工事の契約を行うもの。

【契約方法】制限付き一般競争入札(総合評価方式)
【契約金額】1億4300万円

問
総合評価方式とはどのよ
うな契約方法なのか。

設計金額が5000万円
以上の工事で、価格以外
の技術的な要素などを評価
の対象に加え、価格と技術など
の両面から評価を行う。本契
約では、価格評価80点、価格
以外の評価20点の合計100
点としている。なお、価格以
外の評価の項目については、
業者の施工実績、災害対応や
地域貢献の活動実績を含む10
項目を設けた。

議案
第5号

OTC類似薬の公的保険外し・給付
制限の中止を求める意見書の提出

OTC類似薬※の公的保険外し・給付制限の中止を求め、
国に対し意見書を提出するもの。

※OTC類似薬とは、処方薬のうち成分や効能が処方箋なしで購入で
きる市販薬と似ている医療用医薬品のこと

【内容】国ではOTC類似薬の保険適用除外が議論されて
いるが、患者は必要な治療の継続を求めている。
日本医師会は、OTC類似薬の保険適用除外について「医
療機関の受診控えによる健康被害」「経済的負担の増加」「薬
の適正使用の難しさ」について懸念を表明している。

医療費削減の議論ありきでなく、国民皆保険制度の下で
全ての国民に必要な医療が保険給付されるOTC類似薬の
公的保険外し・給付制限の中止を求める。

条例審査

常任委員会に付託(議会の議決に先立って詳しく検討すること)された
議案について審査が行われました。

議案
第53号

角田市老人福祉センター条例及び角田市婦人研
修センター条例の廃止

老人福祉センター(内町荘)と婦人研修センター
の老朽化、利用人数の減少に伴い、必要な代替サー
ビスを確保した上で、令和8年3月末日で閉館する
もの。

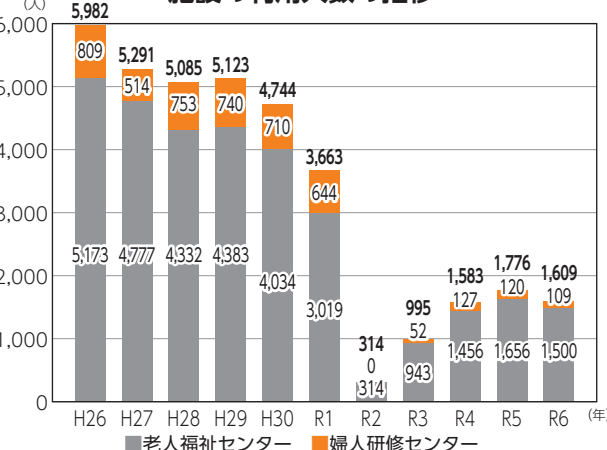


▲老人福祉センター(内町荘)



▲婦人研修センター

施設の利用人数の推移



和3年)したが、昨今の物価
高騰等によりさらに増加が見
込まれる。

問
閉館後、施設は残るのか。

施設をすぐに解体する予
定はなく、閉館が正式に
決まってから民間などの利活
用がないかなど検討する流れ
で考えている。なお、現在、
両施設は避難所と避難場所に
指定されているが、閉館後は、

問
閉館することについて、
利用団体の反応は。

8月に2回開催した事前
説明会に30を超える団体
の方に参加いただいた。閉館
は困るという意見はあったも
の、経緯や代替サービスに
ついて説明をし、概ね理解を
いただいた。

決算審査特別委員会での質疑

一般会計 歳入 手数料 (コンビニ交付サービス)

問 住民票の写しなどの各種証明書※1のコンビニ交付サービスの利用状況は。

答 令和6年度の各種証明書の総申請件数は2万8,775件、うちコンビニ交付は4,582件である。



◀10月から市内5局の郵便局と市役所で、コンビニ交付と同様に、マイナンバーカードを活用した各種証明書の取得が可能になりました。(写真：市役所)

※1 角田市における取扱い証明書は、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票、所得(課税)証明書、戸籍証明書(戸籍謄本・抄本)

一般会計 歳出 総務費 (市民提案型まちづくり事業)

問 令和5年度は1件、令和6年度は2件の応募があったが、幅広い層から応募がくるように、事業内容の工夫が必要と考えるが。

答 提案者のプレゼンテーションや市民の方への事業報告などを取り入れ、審査過程を一部変更することにより、提案のハードルを下げ、応募しやすい制度となるよう見直しを行っている。▲2次審査のプレゼンテーション



水道事業会計

問 有収率※2が、令和5年度は75.9%、令和6年度は72.3%と連続して下降しているが、その原因について問う。

答 令和5年11月から令和7年2月までの期間で大きな漏水があったためである。漏水箇所が判明した後、速やかに対処をしたので、現在の有収率は、大きな漏水が発生する前に回復している。

※2 供給した水量がどの程度収益につながっているかを示す。

下水道事業会計

問 下水道の処理区域人口、水洗化人口が伸びていないが、接続をしてもらうための対策は行っているのか。

答 下水道に接続が可能な方には、日頃から働きかけているほか、定期的に広報かくだへ接続のお願いを掲載している。

下水道は、生活の中から出された水をきれいな水に処理して自然に戻す役割を担っています。



【現地調査】

決算審査の参考とするため、尾袋川水管橋長寿命化工事(写真右)やスペースタワー昇降機設備更新工事など、市内数箇所で現地調査も行われました。

本会議での討論



賛成

瀧口 聖人

デジタル改革推進事業、物価高騰等対策支援給付事業、地球温暖化対策事業、減災関連事業など、市民生活に即応した対策が講じられている。また、デフレ完全脱却の総合経済対策として定額減税及び定額減税補足給付金事業などを実行し、迅速かつ着実に成果を挙げている。ふるさと納税寄附金は49億円を超え、ふるさと応援基金に約25億円の積み立てを行い、健全で持続可能な財政基盤の確立に努めていることから、賛成する。

反対

日下 七郎



一般会計決算で、他自治体に研修を目的として派遣した職員の給料等が、派遣先の負担でなく角田市の負担とすることは、地方自治法第252条の17(職員の派遣)の規定に反する。

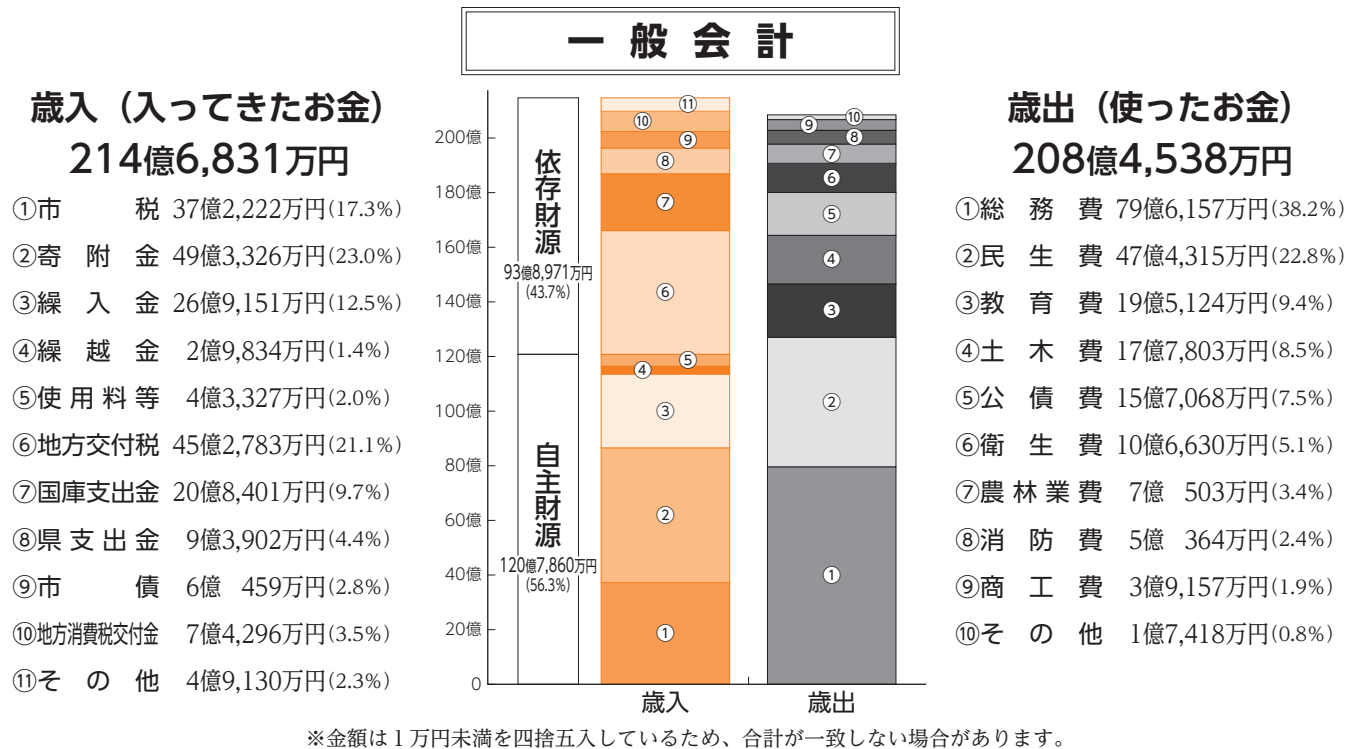
また、水道事業会計決算で、有収率が72.3%と前年度より下回っている。枝野浄水施設の自己水源分は4%、仙南・仙塩広域水道受水分は96%だが、漏水対策を行えば自己水源の枝野浄水施設の稼働は必要ない。以上のことから反対する。

令和6年度 決算を

認定

市の予算は使って終わりではありません。「何のために」「どのように集めたのか」「どのように使ったのか」「事業の成果はどうだったのか」など、議会はその内容について審査をします。

9月定例会では、議会選出監査委員を除く14人の議員で構成する決算審査特別委員会(菊地利衛委員長、武藤広一副委員長)を設置し、令和6年度決算の審査を行いました。前年度の予算の使い方が適正かつ効率的であったかを確認し、一般会計、特別会計及び企業会計いずれの議案も認定しました。



特別会計

会 計	歳 入	歳 出
国民健康保険事業	34億3,789万円	33億5,918万円
後期高齢者医療	4億6,045万円	4億5,346万円
介護保険	32億9,538万円	32億5,178万円
産業用地造成事業	8,172万円	8,172万円
東根財産区	28万円	28万円

企業会計

会 計	歳 入	歳 出
水 道 事 業	収益的収支	9億8,423万円
	資本的収支	1,839万円
下 水 道 事 業	収益的収支	10億4,786万円
	資本的収支	8億6,629万円

【一般会計決算の概要】

令和6年度の一般会計の決算額は、前年度と比較して、歳入は1億8,469万円(0.9%)の増額、歳出は4,795万円(0.2%)の増額となっています。

☑歳入の増額の主な要因

ふるさと納税寄附金や各種基金からの繰入金のほか、市税において収入増となっています。

☑歳出の増額の主な要因

定額減税補足給付金事業の皆増(前年度に数値がなく全額増加)、各種基金への積立などによるものです。



◀決算概要の詳細はこちら

一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えを質することです。質問は一问一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。（その他の質問の要約は掲載されておりませんので各議員名の下にある二次元コードを読み込んで、録画の配信をご視聴ください。）

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
菅野マホ	指定管理体制とコンプライアンス その他の質問 ・角田市の防犯体制は十分なのか、犯罪弱者である子どもや女性を守る為に、	8
齋藤 強	暑さ対策について 水害対策について 主要地方道丸森柴田線（坂津田工区）の交通事故多発について	8
瀧口 聖人	角田市消防団（基本団員）の定年延長について 防火水槽の管理責任区について 一級河川高倉川の除草について	9
八島 定雄	角田市の「孤独・孤立支援対策」について カスタマー・ハラスメント（カスハラ）への対応策について	9
湯村 勇	森林環境譲与税を活用した市有林化について 地域ボランティア共同作業について	10
戸村眞喜夫	コメ政策の見直しと角田市の稲作農家への影響について 気候変動による極端な高温や干ばつ被害に対する農畜産業対策について 米価高騰による「低所得世帯」「子育て世帯」等への支援策について	10
日下 七郎	市道管理に関する事について 旧県道丸森柴田線（坂津田工区）角田市への移管前の県道管理者に対する対応について	11

ライブ・録画配信をやっています

http://www.kakuda-city.stream.jfif.co.jp

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末でライブ中継がご覧になれます。
また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。



角田市議会 映像配信 検索

第433回（令和7年9月）定例会

傍 聴 者 数 6人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 363人

インターネット録画中継視聴者数

7月～9月 延べ 2,115人

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
菊地利衛	角田市を活性化させるために今必要なこと 太陽光発電事業から自然環境、景観、生活環境を守るために	11
星 隆悦	角田市における外国人の現状と課題について 市道一本木町諏訪脇南線（路線番号5070）自照院墓地接道改良について その他の質問 ・阿武隈急行線諸課題について	12
齋藤 克敏	夏季休暇期間中のプール開放と水泳の授業について 放課後児童クラブでの過ごし方について 地域医療とまちづくりの連携について 有害鳥獣対策について その他の質問 ・市民活動支援センターについて	12
渡邊 誠		13

審議結果一覧

○…賛成 ×…反対 ……退席又は欠席 議長（馬場 道晴）は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件 名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心			かくだ未来倶楽部			会派翔誠			日本共産党 角田市議団		無会派 (会派に所属しない議員)		
				菊地利衛	戸村眞喜夫	渡邊 誠	武藤 広一	星 隆悦	菅野 マホ	湯村 勇	瀧口 聖人	齋藤 強	日下 七郎	八島 定雄	齋藤 克敏	柄目 孝治	堀田 孝一
市	議案第50号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（令和7年度角田市一般会計補正予算（第4号））	承認（13：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	議案第51号	教育委員会委員の任命について	同意（13：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	議案第52号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（13：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	議案第53号	角田市老人福祉センター条例及び角田市婦人研修センター条例の廃止について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	角田市議会議員及び角田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号	角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号	角田市障害者就労支援施設条例の一部改正について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号	暴力団の利益となる公の施設の使用等の制限に関する条例の一部改正について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号	令和7年度角田市一般会計補正予算（第5号）	可決（12：2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案第60号	令和7年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決（12：2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案第61号	令和7年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（12：2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案第62号	令和7年度角田市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第63号	令和7年度角田市水道事業会計補正予算（第2号）	可決（12：2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案第64号	令和7年度角田市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決（12：2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案第65号	令和6年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（12：2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案第66号	令和6年度角田市水道事業会計決算の認定について	認定（12：2）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案第67号	令和6年度角田市下水道事業会計決算の認定について	認定（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第68号	令和7年度角田市総合保健福祉センター大規模改修（建築）工事請負契約の締結について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任（13：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議員	議会案第5号	〇ＴＣ類似薬の公的保険外し・給付制限の中止を求める意見書の提出について	可決（14：0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

人 事 案 件

教育委員会委員の任命

《新任》 信濃 光男 任期：令和7年10月1日～（4年間）

固定資産評価審査委員会委員の選任

《再任》 太田 京子 任期：令和7年10月1日～（3年間）

人権擁護委員の候補者の推薦

《新任》 小澤ちはる 任期：令和8年1月1日～（3年間）

皆さんからの陳情

〇ＴＣ類似薬の公的保険外し・給付制限の中止を求める意見書の提出を求める陳情

宮城県社会保障推進協議会

会長 岩倉 政城 ほか1名



指定管理体制とコンプライアンス

菅野 マホ



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼他自治体で指定管理会社のコンプライアンス(法令遵守)違反があった。角田市には指定管理会社は5つ、施設は13件あるが、コンプライアンスの把握、指導をしているか。

市長▼協定を締結する際の仕様書に法令等の遵守の規定を設けている。

副市長▼私が選定委員会委員長だが、全ての評価で「良好」の結果を受けており、法令遵守は指定管理者でしっかりとやっている認識である。

議員▼仮に会社内でコンプライアンス違反(差別的言語、パワーハラスメントなどにより精神的疾病や辞職に至る問題など)があった場合、当事者はどこへ相談すればよいのか。

市長▼上司や会社の相談窓口、国などの相談窓口

へ相談をすることとなる。議員▼市役所の担当部署が現場の話を聞いて改善はしないのか。

市長▼基本的には、会社の中で処理や対応をしてもらうこととなる。

議員▼上に相談できない内容は、労働基準監督署になるのか。

市長▼それも含まれる。

議員▼「指定管理事業報告書」には、管理業務内容や経費等の記載はあるが、スタッフから見ての働きやすさ、風通しの良い上下関係、改善点が反映されているかなどはチェック項目にない。事業報告書から「良好」、「法令違反はしていない」と見るのは浅いと感じる。

市長▼市が口を出すことは越権な行為になる。しっかりと管理会社には管理をいただくということだろうと考える。

議員▼以前、施設で働くスタッフから相談を受けたことがあり、「(上は)辞めたら誰かが代わりに来ればいい、という考え方なんじゃないか」と言っていた。その方は残念ながら辞めてしまったが、働く意欲のある人が辞めてしまう状況があるとしたらとても問題で、それが文化となってしまうてはよくない。指定管理のコンプライアンスについては、市が本気で関わって、見直すべきだ。

市長▼そのようなことがないよう、法令を遵守し、確認をしていく必要がある。日頃からしっかりと対応していくことが、地道だが、風通しの良い労働環境、生活環境となり過ごしやすい角田市になると思われ。今後ともしっかりと対応をしていくように努力していく。



暑さ対策について

齋藤 強



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼行政としての暑さ対策はどうしているのか。市長▼安全安心メール等での注意喚起や公共施設を中心にクーリングシエルトを設置している。

議員▼以前、高齢者に対するエアコン購入補助制度を提言したが、その後の検討状況は。

市長▼調査検討している。議員▼広報紙などで熱中症予防、暑さ対策の普及啓発をしていくべきでは。

市長▼広報紙や市ホームページに掲載している。また、チラシの配布や出前講座なども実施している。

議員▼学校の暑さ対策はどのようにしているのか。教育長▼熱中症予防対策マニュアルを整備し対応している。

議員▼以前、学校体育館と総合体育館へのエアコン設置を提言したが、その後の進捗状況は。

教育長▼学校体育館は、令和8年度に設計業務を委託し、令和9年度以降

に設置予定で、総合体育館は、大規模改修を計画しているが、アリーナ空調設備を優先的に整備できないか検討中である。

議員▼総合体育館は、避難所に指定されている。災害時は停電も想定されるので、非常電源での稼働も検討しているのか。教育長▼検討材料として調査を進めている。

水害対策について

議員▼小田川と尾袋川が特定都市河川に指定されて一年半が経過したが、整備計画などの進捗は。

市長▼流域対策協議会を設置し、流域災害計画立案のための実務者会議を開催し検討している。

議員▼整備計画の素案がまとまる時期はいつか。市長▼明言できないが、早急に始めていく。

議員▼小田川上流部の浸淫状況はどうか。市長▼県で令和元年東日本台風後から令和4年度

まで阿武隈急行線から地藏堂橋の区間で実施し、今後は、堆積状況を確認しながら随時対応していく。

議員▼赤生ため池手前の土砂崩れ箇所の対応は。市長▼県で小田川上流域を対象とした土砂・洪水氾濫対策計画を策定予定で、今後、県と協議を行っていく。

議員▼野田地区への雨水調整池の進捗状況は。市長▼令和10年度の完成予定で事業を進めている。

議員▼野田地区に有効な小田排水機場と堀切排水機場整備の進捗状況は。市長▼国で地区調査が行われている状況である。

主要地方道丸森柴田線(坂津田工区)の交通事故多発について

議員▼6月定例会で信号機の設置を提言した後も交通事故が発生している。早急に設置すべきでは。市長▼宮城県警察本部に設置を要望している。



角田市消防団(基本団員)の定年延長について

瀧口 聖人



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼本市の消防団は、基本団員498名(うち女性団員3名)、機能別団員45名、合計543名(令和7年4月現在)である。条例で定める定員600名に対し57名少ない現状について、どのように考えているのか。

市長▼団員数は減少傾向にあり、団員確保に大変苦慮していたため、本市では、令和6年度より機能別団員制度※を導入した。これにより消防団員の充足率は9割となった。現時点では、条例の定員を変更せず対応したいと考えているが、団員の意見などを踏まえ、消防団幹部会議で検討していく。

※消防団を退団した者、消防吏員を退職した者が対象。活動が制限されるものの消防団員の定数に含まれる。

議員▼基本団員の定年延長について問う。

市長▼今後、定年退団者が年々増加することが予測されることから、定員同様、団員の意見などを踏まえ、消防団幹部会議で検討していく。

防火水槽の管理責任区について

議員▼防火水槽は、市内全体で191基あるが、汚泥が蓄積している、水槽内にアオミドロが繁殖しているなど、火災発生時の水利の役目を果たさない状況にある。そこで、防火水槽の管理責任区を問う。

市長▼防火水槽の管理責任者は角田市となる。一方、現場の水源確保、給水、水槽の点検、草刈りなどは、地域防災の中枢である消防団の活動の一環として担っていただく考えである。

一級河川高倉川の除草について

議員▼河川の美化を目的として、区民の方々の協力のもと、長年、河川堤防のり面の草刈り作業を実施している。しかし、地域の高齢化や過疎化の進行などによる人手不足で草刈り作業の維持が困難となっている状況にある。県管理とは思いますが、市長の見解を問う。

市長▼現在、いずれの地区も各団体の構成員の減少と高齢化が進み、除草活動の維持が難しい現状にある。このような状況を踏まえ、高倉川の除草も、河川管理者である県や関係団体と協議を進め、今後の維持管理の在り方について検討していく。



角田市の「孤独・孤立支援対策」について

八島 定雄



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼「孤立死」には、それぞれの原因や背景があるが、生前、社会的に孤立していた実態こそが問題で、解決しなければならない課題である。

角田市の「孤独・孤立死」の現状をどのように捉えているか。

市長▼孤独・孤立死の市内全数は把握できていないが、核家族化や地域のつながりの減少、高齢化などが複雑に絡み合い、若者から高齢者まで起こり得る問題で、その対策は大変重要と考える。

議員▼これまで行ってきた孤独・孤立対策と、今後、重点的に実施していく諸対策について問う。

市長▼市民には心の健康に関する情報提供を行うほか、支える側の人材育成としてゲートキーパー養成講座の実施のほか、高齢者世帯の対応として、

配食サービス、緊急通報システムなどによる見守りを行っている。

これまで対策を継続しつつ、地域共生社会を目指して地域生活課題の解決に向けた支援が包括的に提供される体制づくりを現在検討している。

カスターマー・ハラスメント(カスハラ)への対応策について

議員▼角田市では、カスハラは起きているのか。年度別に問う。

市長▼カスハラは、住民や業者が、職員に対して行う理不尽な要求、暴言、脅迫などの迷惑行為を指すものであり、令和4年度は31件、令和5年度は44件、令和6年度は139件となっている。

内容は、居座りや長電話などの拘束的な言動、継続的執拗な言動などが多く、脅迫や土下座の強

要など精神的な攻撃や威圧的な言動もみられる。議員▼市役所東庁舎の入口と市民課の前に、「STOP! 暴言・暴力不当な要求」との掲示がある。どのような経緯があったのか。

市長▼カスハラが増加している背景もあり、職員に精神的な不安が広がっていることから、カスハラへの注意喚起、窓口でのマナーを理解していただくため掲示した。

議員▼今後の対策について問う。

市長▼市役所1階に防犯カメラを設置予定である。また、10月下旬には窓口対応を担う職員を中心にカスハラ研修を実施し、暴言や過度な要求、脅迫的な言動に対する対応方針、方法などを学ぶことにしている。



森林環境譲与税を活用した市有林化について

湯村 勇



議員▼角田市の山林の所有形態の特徴として、一筆の面積が小さく筆数が多いことが挙げられる。また、個人所有の山林は、高齢化などで管理が難しい現状にある。

これからの現状を踏まえ、今後、所有者からの依頼があった場合、「市有林化促進事業」に取り組む考えはあるか。

市長▼角田市では、管理が行き届かない森林は、国の森林管理制度※と角田市森林経営管理制度実施方針に基づき、意向調査を経て集積計画を策定し、間伐等の森林整備事業を実施していることから、山林の所有者との集積計画に基づく管理事業を引き続き行っていく。

地域ポラントニア共同作業について

議員▼離農、後継者不足、高齢化に伴い、地域ポラントニアの共同作業（用排水路、道路愛護活動の一環として行っている路肩の草刈り、ごみ収集にも影響が出ている。地域によって回数に違いはあるが、作業に協力できる方も、以前に比べ半数になっている。角田市独

自のお助け隊の組織はないのか、取り組む考えはないのかとの意見もある。市長の考えを問う。

市長▼角田市では、住民が主体的に取り組む地域づくりの活動に対し地域づくり総合交付金による支援を、農地の多面的機能を維持する取組には、多面的機能支払交付金による支払いを行っている。これらの支援事業を活用いただき、地域の担い手を増やす取組を進めることも有効な対策になり得ると考えている。

なお、高齢化などで、これまでどおりの活動が困難になっている地区があることは認識しているが、現時点では、市全域でお助け隊のような組織は検討していないものの、各地区の状況を注視し、実情に応じた必要な対策を検討していく。



コメ政策の見直しと角田市の稲作農家への影響について

戸村 眞喜夫



議員▼米の価格高騰を受け、政府は8月5日に米の安定供給等実現関係閣僚会議を設置し、米政策は増産へ舵をきり、2027年から実施する予定である。令和7年産の米価が60kg当たり3万円前後で取引され、約30年続いた下落基調は急回復したが、消費者価格を下げ

るため、大量の備蓄米放出や輸入米が急増している中での増産への転換は、供給過剰となり米価は暴落しかねない。政府が増産を推進するならば、同時に米価下落時に農家の所得減少を補償する直接支払い制度を設けるべきと考えるが、市長の見解を問う。

市長▼国に対し、農業者が安心して生産できる制度を構築するよう、市長会、知事会等を通して要請していきたい。また、重要な局面を迎えた場合には、議会でも国等に働きかけをお願いしたい。

気候変動による極端な高温や干ばつ被害に対する農畜産業対策について

議員▼今夏、国内では全国の平均気温が統計史上最高を更新し、「異常な高温」（気象庁）を記録し、角田市では3年連続、高温のため農畜産物生産に被害が出ている。今夏の高湿状況を参考とし、生産現場の意見を取り入れながら、来年度に向け早急に対策を講じるべきと考えるが。

市長▼国の動向を見定めながら、国、県、生産者や生産者団体との連携を密にしたい。

米価高騰による「低所得世帯」「子育て世帯」等への支援策について

議員▼総務省が公表した「家計調査」から、全国的に食費が家計を圧迫していることが明らかに

なった。米価高騰が一因でもある食費の上昇は低所得者層等にとっては死活問題で、高齢者、若者、子育て世代等に影響が出ており、利府町、山元町、涌谷町では、子育て世帯に米の現物配布等の支援事業を行っている。角田市でも「低所得世帯」「子育て世帯」等を対象に、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金やふるさと納税寄附金を財源に、米の現物配給等の支援事業を行うことが必要と考えるが。

市長▼角田市では、米の現物配布は実施していないが、物価高騰対策として3割増し商品券発行の助成を行っている。今後、国の動向を注視し、状況に応じた対策を行っていく。



市道管理に関することについて

日下 七郎



議員▼第427回（令和6年6月）定例会の一般質問で「道路交通法施行令が改正し、2026年9月実施を目指す」との報道を紹介した。

道路交通法施行令第11条を改正する官報が届いているか。また、官報の内容を市道路線認定の路線に置き換えるかどうか。

市長▼官報は確認している。中央線の表示がある道路は60キロメートル毎時、中央線の表示がない道路は30キロメートル毎時となる。

議員▼南大坊泉田線について、道路交通法施行令第11条の改正への対応を問う。

市長▼角田警察署に確認したところ、「40キロの規制標識がある区間は従来どおりで、規制標識が

ない区間は60キロから30キロ制限に変更になる」と回答があった。

なお、南大坊泉田線は、令和10年度から拡幅工事を予定しているため、速度規制について、角田警察署と県公安委員会に協議をすることとなる。

議員▼寺前笠島線の橋梁107-4から橋梁7087-4の区間は、路面が歩道側に片勾配となり、また、歩道が冠水するが、道路交通法施行令第11条の改正への対応が可能な

のか。

市長▼現状を解消するため、令和6年度に道路の設計を行い、令和8年度以降にかさ上げ工を含む道路整備を実施する予定。角田警察署に対応が可能か確認したところ「沈下等の原因で道路構造令の規格から外れた道路でも、

道路交通法施行令第11条の改正は適用される」と回答があった。

旧県道丸森柴田線（坂津田工区）角田市への移管前の県道管理者に対する対応について

議員▼交通事故が多発している県道丸森柴田線の「筒目木交差点」を平面交差にし、旧県道から車両が発進しやすくし、信号機を設置し、歩行者・車両の安全確保をしなければ、議会も市道認定議案の可決をしないと思うが、市長の考えを問う。

市長▼県では事故防止に向け、今後、道路標識や路面表示による注意喚起を行っていくとのこと。議会の可決がなければ、県道から市道への移管もできないため、安全を確保するよう、引き続き県に要望していく。



角田市を活性化させるために今必要なこと

菊地 利衛



議員▼市民力という言葉とともに市政運営がなされてきたが、市民は、既に市に見えないところでも日々活動している。逆に、職員が市民のところに飛び込み、行政に反映する環境をつくるべきだ。

市長▼そのような体制をつくっていききたい。

議員▼企業誘致や豊かな暮らしのために交通ネットワークの整備は重要だ。働き手不足などで物流改革が進み、トレーラーも大型化している。市内から安全に高速道路に乗るには道路改善が必要と指摘したが、進んでいるか。

市長▼現在、県に協議を行っている。

議員▼企業誘致には、雇用環境が良いことも重要だ。若い世代の定住促進に向け、新たな支援策の創設を要請したが、進んでいるか。

市長▼現在、来年度の市

勝の覚悟はあるか。

市長▼調査やビジョン作成を並行して進めたい。

太陽光発電事業から自然環境、景観、生活環境を守るために

議員▼市内には多くの太陽光発電施設があり、生活環境、景観などへの影響が懸念されている。現在の条例では①既に事業に着手している者、②既に許可を受けまたは受ける見込みの者には角田市の権限が届かない。①と②の事業者にも管理状況の報告を求め、指導できるように条例改正しなければならない

「自然環境、景観、生活環境と事業の調和」は担保できない。白石市や福島市の条例は申請済みや既存施設に対しても義務規定が適用されている

市長▼太陽光発電施設はさまざまな課題があるため、行政として管理できる形を検討する。



角田市における外国人の現状と課題について

星 隆悦



議員▼人口減少が続く日本では、外国人は労働者として欠かせない存在になつており、外国人労働者数は、今や360万人以上で日本人の3%に達している。

現在の角田市の外国人の数と国籍を問う。

市長▼令和7年8月末時点で301人、国籍は中国、ベトナム、フィリピンなど17カ国の方が住民登録をしている。

議員▼国際交流事業の一環として行っている角田市の主催事業「日本語講座事業」は、重要な事業であると考える。実施場所が、ウエルパーク、角田自治センター、市役所、市民センターを転々としているが理由を問う。

市長▼コロナ禍の収束後、市民活動が活発化し、公共施設のニーズが以前に増して高まっている中で、長期間にわたり特定の施設を占有的に利用することが難しい状況にあったためである。

議員▼「日本語講座事業」は角田市の主催事業なので、サークル活動と同列に扱うのではなく、実施場所は年間で押さえておくべきと思うが。

市長▼一度精査をし、検討したい。

市道一本木町諏訪脇南線（路線番号5070）自照院墓地接道改良について

議員▼市道江尻梶賀線（通称角田バイパス）から自照院墓地付近までの約180mの区間は、桜の木の大きな切り株が8本ほど道路の側面にある。歩道もなく、片側通行しかできず、通行の利便性や交通安全性の観点からも改良してほしいとの声がある。

桜の木を伐採した理由と木の切り株を残した理由を問う。



▲自照院墓地前

市長▼伐採は、木の枝が通行車両に支障を来したことからなどがある。また、木の切り株は、地元で拡幅改良の意見と拡幅改良した場合の交通量増加を心配する意見の両方があったため、安全対策を講じた上で存置した。

議員▼改良できない理由としない理由を問う。

市長▼地元との調整に時間を要したためだが、令和7年3月に、改良工事の要望があったため、今後、計画的に対応していく。



夏季休暇期間中のプール開放と水泳の授業について

齋藤 克敏



議員▼水泳の実技を廃止し、座学のみを行う動きが全国の公立中学校を中心にあり、今後の中学校の水泳の授業の実施体制等は。

議員▼現在、中学校では座学が中心だが、統合後は今後検討していく。

議員▼今後も地球温暖化の影響で猛暑が予想される中、小学校では夏季休暇期間中のプール開放が中止となったが、どう考えているか。

議員▼登下校時や利用時の熱中症等の心配から、令和7年度以降、プール開放は行わない。

議員▼夏季休暇期間中のプール開放が楽しみな子どもも多い。代替案として屋内温水プールを市内の小中学生に無料開放しては。

議員▼市の財政負担等を考慮した上で、無料券等の配布を検討していく。

議員▼水泳の民間委託も視野にあるようだが、児童の健全な発育のサポート体制強化のため、どのような取組を行うのか。

市長▼令和8年4月から民間事業者へ業務委託に向けて準備を進めている。市、学校、教育委員会、民間事業者との連携強化のため、常日頃の報告・連絡・相談の体制を構築し、適切な事業者選定に努めていく。

議員▼運営の民間委託も視野にあるようだが、児童の健全な発育のサポート体制強化のため、どのような取組を行うのか。

市長▼令和8年4月から民間事業者へ業務委託に向けて準備を進めている。市、学校、教育委員会、民間事業者との連携強化のため、常日頃の報告・連絡・相談の体制を構築し、適切な事業者選定に努めていく。

議員▼地域医療は住民の健康を守る基盤で、持続可能なまちづくりに不可欠である。医師や看護師等を目指す学生が家庭の事情で諦めず、将来、地域の医療従事者として活躍できる奨学金制度を開始する意義があるのでは。

市長▼持続可能な地域医療体制の構築を目指すため、効果的な支援策の選択肢の一つとして検討していく。

議員▼医療機関は地域で生活するための基盤であり、インフラだと言える。市と医療機関が体系的に連携していく取組を推進する考えはあるか。

市長▼医療機関や医師会には、既に多くの行政運営に協力をいただいております。今後も引き続き、さまざまな分野において連携、協力を賜りたい。



有害鳥獣対策について

渡 邊 誠



議員▼有害鳥獣対策については、さまざまな事業に取り組み、一定の成果を上げているが、まだ農作物の被害などで苦労されている声が聞かれる。

最近のイノシシの生息状況を問う。

市長▼捕獲頭数は、豚熱の影響により令和3年度、令和4年度と減少が続けたが、本年の捕獲頭数から、生息状況は増加傾向にあると認識している。

議員▼今年の捕獲頭数見込みを問う。

市長▼過去3カ年の捕獲実績を考慮し、700頭を見込んでいます。

議員▼ニホンザルの生息状況について問う。

市長▼数年前より東根地区から藤尾地区において4頭から5頭ほどの集団が目撃され、報告が寄せ

られている。個体数に大きな変化は見られないが、生息域は広がっていると認識している。

議員▼ニホンザルが大規模な集団化により凶暴化し、農作物被害にとどまらず、民家にも被害を与えている報道をよく見る。大規模化する前に対策を講じるべきと考えますが、市長の認識を問う。

市長▼角田市鳥獣被害対策実施隊による定期的な巡回や市職員の現地調査などで生息状況を把握している。駆除等の対策は、鳥獣被害防止計画を作成し、実施隊による捕獲の許可を行っているが、人家の近くでは銃が撃てないため、捕獲は進んでいない。また、行政区長にも協力をもらい、花火による追い払いなどサルが

近寄りにくい環境にするための啓発なども併せて実施している。

今後は、広域的な対策が重要となるため、近隣の市町や県とも情報を共有しながら必要な対策を講じ、大規模な集団化の前に徹底して排除するよう対応していく。

議員▼市内におけるクマの生息実態を問う。

市長▼これまで小田地区、藤尾地区、最近では西根地区で熊の目撃情報がある。一般的にツキノワグマの行動範囲は、個体の性別や年齢、食料の状況によって大きく異なるが、雄は50kmから100kmの範囲と言われているため、市内山間部の全域にわたって生息していると認識している。

委員会等の構成

各常任委員会及び議会運営委員会の委員の任期満了による改選で、委員会等の構成が次のとおりとなりました。【任期】令和9年9月30日まで

総務産業常任委員会				教育厚生建設常任委員会			
委員長	星 隆悦	委員長	武藤 広一	委員長	菅野 マホ	委員長	菅野 マホ
副委員長	瀧口 聖人	副委員長	戸村真喜夫	副委員長	齋藤 克敏	副委員長	齋藤 克敏
委員	菊地 利衛	委員	齋藤 克敏	委員	菅野 マホ	委員	菅野 マホ
委員	馬場 道晴	委員	菅野 マホ	委員	菅野 マホ	委員	菅野 マホ
委員	湯村 勇	委員	堀田 孝一	委員	堀田 孝一	委員	堀田 孝一
委員	日下 七郎	委員	堀田 孝一	委員	堀田 孝一	委員	堀田 孝一
委員	柄目 孝治	委員	堀田 孝一	委員	堀田 孝一	委員	堀田 孝一

会派の構成

議員の所属会派の変更に伴い、会派の構成が次のとおりとなりました。

会派名	所属議員数
会派一心	3人
かくだ未来倶楽部	3人
会派翔誠	3人
日本共産党角田市議団	2人
会派に所属しない議員（無会派）	4人

市民の皆様へ

去る8月15日、本市議会議員が酒気帯び運転により逮捕される事案が発生したことに対し、市民の皆様へ深くお詫び申し上げます。

飲酒運転の根絶に向け市を挙げて懸命に取り組み中、率先して周知啓発にあたるべき市議会議員自らがこのような事態を起こしたことは、誠に遺憾であり、重ねてお詫び申し上げます。

今後は二度とこのような事態を招かぬよう全議員が再発防止はもとより、改めて綱紀粛正に努めてまいります。

なお、当該議員から令和7年8月18日付けで辞職願が提出され、議会が閉会中であるため、同日付けで辞職を許可しました。

角田市議会議長

